

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【公開番号】特開2015-139090(P2015-139090A)

【公開日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【年通号数】公開・登録公報2015-048

【出願番号】特願2014-9308(P2014-9308)

【国際特許分類】

H 0 4 W 4/00 (2009.01)

G 0 6 F 21/35 (2013.01)

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

H 0 4 W 12/06 (2009.01)

H 0 4 W 84/10 (2009.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 4/00 1 1 0

G 0 6 F 21/20 1 3 5

G 0 6 K 17/00 F

G 0 6 K 17/00 T

H 0 4 W 12/06

H 0 4 W 84/10 1 1 0

H 0 4 W 84/12

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月18日(2016.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線接続装置であって、

N F C インタフェースによって、N F C に基づき情報を読み出し可能な I C チップを搭載した記憶媒体の前記無線接続装置への近接を検出する検出部と、

前記近接を検出している間、前記無線接続装置により提供される複数のネットワークのうちの他のネットワークから隔離された無線ネットワークである来客者向け無線ネットワークに対する、無線端末の接続を可能とする限定接続部と、  
を備える、無線接続装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の無線接続装置であって、さらに、

前記 N F C インタフェースによって、前記記憶媒体から前記情報のうちの認証情報を取得する取得部を備え、

前記検出部は、前記取得部による前記認証情報の取得が可能な場合に、前記無線接続装置と前記記憶媒体とが近接していると判定する、無線接続装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の無線接続装置であって、さらに、

取得した前記認証情報を用いて、前記記憶媒体の正当性を認証する認証部を備える、無線接続装置。

## 【請求項 4】

請求項 2 に記載の無線接続装置であって、さらに、  
取得した前記認証情報を外部装置へ送信し、前記記憶媒体の正当性の認証結果を前記外部装置から取得する認証部を備える、無線接続装置。

## 【請求項 5】

請求項 3 または請求項 4 に記載の無線接続装置であって、  
前記認証部は、さらに、一時的に有効な一時鍵を生成し、前記生成した一時鍵を前記 N F C インタフェースによって前記記憶媒体に記憶させる、無線接続装置。

## 【請求項 6】

請求項 5 に記載の無線接続装置であって、  
前記取得部は、前記記憶媒体に記憶されている前記一時鍵を取得し、  
前記認証部は、前記認証情報に代えて、または、前記認証情報と共に、前記一時鍵を用いて前記記憶媒体の正当性を認証する、無線接続装置。

## 【請求項 7】

請求項 1 から請求項 6 のいずれか一項に記載の無線接続装置であって、  
前記限定接続部は、さらに、前記来客者向け無線ネットワークへ接続している前記無線端末から、前記他のネットワークへの通信を制限することで、前記無線端末による通信先をインターネットに限定する、無線接続装置。

## 【請求項 8】

請求項 1 から請求項 7 のいずれか一項に記載の無線接続装置であって、  
前記限定接続部は、さらに、前記無線接続装置とインターネットとの間にネットワーク装置がある場合に、前記ネットワーク装置に対して、前記無線接続装置を介した前記来客者向け無線ネットワークへの接続を許可させる、無線接続装置。

## 【請求項 9】

請求項 8 に記載の無線接続装置であって、さらに、  
前記ネットワーク装置に対して、仮想プライベートネットワークを用いた通信路の確立を要求する仮想化要求部を備える、無線接続装置。

## 【請求項 10】

無線接続装置を制御するための方法であって、  
N F C インタフェースによって、N F C に基づき情報を読み出し可能な I C チップを搭載した記憶媒体の前記無線接続装置への近接を検出する工程と、  
前記近接を検出している間、前記無線接続装置により提供される複数のネットワークのうちの他のネットワークから隔離された無線ネットワークである来客者向け無線ネットワークに対する、無線端末の接続を可能とする工程と、  
を備える、方法。

## 【請求項 11】

ネットワークシステムであって、  
無線接続装置と、  
N F C に基づき情報を読み出し可能な I C チップを搭載し、前記情報として認証情報が予め記憶されている記憶媒体を備える無線端末と、  
を備え、  
前記無線接続装置は、  
N F C インタフェースによって、前記無線接続装置に対する前記記憶媒体の近接を検出する検出部と、  
前記近接を検出している間、前記無線接続装置により提供される複数のネットワークのうちの他のネットワークから隔離された無線ネットワークである来客者向け無線ネットワークに対する、前記無線端末の接続を可能とする限定接続部と、  
を備える、ネットワークシステム。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明は、上述の課題の少なくとも一部を解決するためになされたものであり、以下の形態又は適用例として実現することが可能である。

本発明の第 1 の形態は、無線接続装置であって、

N F C インタフェースによって、N F C に基づき情報を読み出し可能な I C チップを搭載した記憶媒体の前記無線接続装置への近接を検出する検出部と、

前記近接を検出している間、前記無線接続装置により提供される複数のネットワークのうちの他のネットワークから隔離された無線ネットワークである来客者向け無線ネットワークに対する、無線端末の接続を可能とする限定接続部と、  
を備える。

本発明の第 2 の形態は、ネットワークシステムであって、

無線接続装置と、

N F C に基づき情報を読み出し可能な I C チップを搭載し、前記情報として認証情報が予め記憶されている記憶媒体を備える無線端末と、  
を備え、

前記無線接続装置は、

N F C インタフェースによって、前記無線接続装置に対する前記記憶媒体の近接を検出する検出部と、

前記近接を検出している間、前記無線接続装置により提供される複数のネットワークのうちの他のネットワークから隔離された無線ネットワークである来客者向け無線ネットワークに対する、前記無線端末の接続を可能とする限定接続部と、  
を備える。

また、本発明は以下の形態としても実現可能である。